

『岡山っ子育成条例』市民協働による推進
「自立に向かって成長する子ども」の育成豊かな人間性
活用力 表現力自分を高める
向上心 社会性共に生きる
人権尊重の精神

地域協働による学校づくり(家庭・地域とともに歩む)

中学校区共通テーマ「一人一人の生きる力を養い、自立する子どもの育成」

学校教育目標

自分に自信をもち ともに挑戦する 角山っ子の育成

めざす学校像

毎日行きたい、行かせたい学校

めざす教職員像

人権感覚を磨き、児童の
持ち味を大切にする教職員

めざす子ども像

- ①思いやる子…相手の立場に立って考え、人の気持ちや地域の思いを大切にする子
- ②考える子…主体的に考え、論理的・対話的に課題を解決しようとする子
- ③つながる子…積極的に他者にかかわり、よりよくしようと折り合いを付けながら協力する子
- ④やりぬく子…失敗に屈せず、失敗に学び、持ち味を活かしつつ粘り強く挑戦する子

育ちの部

指導の重点

学びの部

互いに助け合い認め合う風土

- ①人権教育の視点を軸とした集団づくり
- ①支持的風土を高める集団づくり
- ①③縦割り班活動における交流の充実
(なかよしタイム・清掃活動・学校行事等)
- ③①地域との活動における交流の充実
(運動会・発表会・ボランティア交流会等)

個に応じた支援

言語活動を大切にした風土

- ②特別支援教育の視点を生かした授業づくり
- ②④PBLにおける対話的活動の設定と工夫
- ②④地域の教育資源を生かした魅力ある
授業づくり
- ②④学習活動における対話的活動の充実
(田植え、稲刈り、芋づくり等の体験活動、
地域の産業や史跡を内容とした各学習)

地域のよさ

- ・学校行事と地域行事とのコラボなど、活動を活性させる要素と「つながる」場がある
- ・豊かな自然、伝統的文化、地域の人々のあたたかさなど地域の教育資源がある

特別指定小規模小学校のよさ

- ・居住区の異なる人同士の「つながる」場とできる
- ・少人数の特性(異学年交流、他者との親密感、全員体験、落ち着いた環境等)を活用できる

研究主題

対話を用いて考えを深め合う子どもの育成

キーワード

○地域の教育資源

○特別支援教育の視点

○縦割り班活動

○ESD推進